

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：藤澤健二 副会長：伊澤和男 幹事：多田浩之 公共イメージ向上委員長：三澤耕太



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 RI会長
ホルガー・クナーク
<ドイツ>



第1556回 成田守夫ガバナー公式訪問例会 令和2年10月13日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 真実を求めて 平澤理ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介

- ・ RI第2600地区ガバナー 成田守夫様
- ・ 上伊那グループガバナー補佐 山田 益様
- ・ RI第2600地区副幹事 宮本尚武様



■ ロータリー在籍表彰

下井達典会員・清水吉治会員へ「在籍30年表彰」
成田守夫ガバナーより表彰状を授与していただきました。



■ 会長談話 伊澤和男副会長



本日は成田ガバナー公式訪問ありがとうございます。10月4日地区大会成功おめでとうございます。

コロナ禍の開催で本当に気苦労も大変だったと思います。当クラブはリモートでの参加で大変残念でした。記念講演は山極勝三郎様の親戚にもなります、前京都大学総長、前日本学術会議会長であった山極壽一様により「新型コロナウイルス後の人間社会」と題して、内容のある又大変興味深い講演で、人間の白目、郡の単位、言葉や脳の重さ等々、ゴリラ社会から見る情報はとても参考になりました。大変濃密な内容でした。

来賓挨拶では柳澤上田商工会議所会頭が上田袖の和服をきっちり着こなし、今度新一万円札の肖像画として話題の渋沢栄一氏が大河ドラマにもなる話の中で、佐久や上田に藍玉の行商にきたこと、県内初の上田商工会議所設立時の話、日本の資本主義の親のような人の話はとても素晴らしい挨拶でした。

本地区大会はノミニーまできっちり選出され挨拶もあり、誠に立派な大会であったように思います。

■ ニコニコボックス

- ◆山田益様より 「島岡御大」の本を読みました。中に鈴木一比古氏の名前がありました。
- ◆宮本尚武様より 本日はよろしくお願ひ申し上げます。
- ◆伊澤和男 国際ロータリー第2600地区ガバナー 成田守夫様、上伊那グループガバナー補佐 山田益様、国際ロータリー第260地区副幹事 宮本尚武様、ご来訪歓迎いたします。本日はよろしくお願ひいたします。
- ◆多田浩之 国際ロータリー第2600地区ガバナー 成田守夫様、上伊那グループガバナー補佐 山田益様、国際ロータリー第260地区副幹事 宮本尚武様、ようこそお越しいただきました。本日はよろしくお願ひいたします。
- ◆田中真人 本日、SAAの代理をさせていただきます。ご迷惑をお掛けするかと思いますがよろしくお願ひします。
- ◆清水吉治 私は48歳の時入会させていただきました。現在78歳ですので30年となりました。その間、退会も考えた事もありましたが、虹の会のメンバーに励まされ踏み止まることが出来ました。仲間という大事なものを得ることが出来ました。今後とも宜しくお願ひいたします。
- ◆井上修 伊那のスワニーという会社と、肝臓の模型を作ることに成功しました。お医者さんの電気メスの練習用です。全国から伊那中央病院に研修に来てくれるようになります。
- ◆鈴木一比古 上田西が今日の対戦で勝てば、春の選抜甲子園が決まります。長野県高校球児がんばれ。

■ 幹事報告 多田浩之幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・10月25日（日）地区補助金事業「市民の森（ますみヶ丘平地林）整備作業」の案内

原一馬ロータリー財団委員長



10月25日地区補助金事業「市民の森—ますみが丘平地林—整備作業」が行われます。当日9:30から受付です。鳩吹公園駐車場にできれば下の方に車を止めて下さい。又ロータリー財団委員会は4名しかおらず、出席委員会の皆さんには検温・マスク・消毒などの受付時対応をお願いすると共に、みなさんの協力をお願いします。

■ 出席報告

会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者26名 事前メイク4名
出席率75.00% 前回出席率 修正なし

■ ガバナー紹介

・上伊那グループガバナー補佐 山田益様より、成田守夫ガバナーのご紹介をいただきました。



国際ロータリー第2600地区ガバナー成田守夫氏の紹介をさせていただきます。
1989年上田RC入会、1990年上田西RC発足とともに移籍。クラブ会長等要職を歴任し、多数の功労寄付を行ってきた。1974年上田Y.S.A大学予備校を設立し、現在学校法人成田会の代表理事を務める。細かなところにも気配りを行なう好人物です。

■ ガバナー講話

・RI第2600地区ガバナー 成田守夫様より、ご講話をいただきました。

ガバナー公式訪問は、ガバナー自身が2600地区内の各ロータリークラブを、個々のクラブまたは複数のクラブのグループとして、以下のような目的を持って訪問するものである。

- ・ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
- ・弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに特別な関心を払う。
- ・奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
- ・クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規定を順守していることを確認する。
- ・顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自らが表彰する。

ガバナーあるいはガバナー補佐は、公式訪問の際にクラブ目標への進展状態を確認すべきである。

訪問はガバナー出席の効果が最も高まるよう、加盟認証状伝達式、入会式、新会員オリエンテーション、プログラム、表彰式、特別プログラム、ロータリー財団行事、都市連合会会合においては、ホストクラブに限らず、全参加クラブを挙げての出席を強調すべきである。

ガバナーはまた、地区がクラブをより効果的に支援する方法について、クラブからの意見を求めるべきである。

と、ロータリー情報ハンドブックにあります。

私が公式訪問でお伝えしたい点は次の項目です。



- ロータリーの本質と使命の確認をし、計画と実行。
 - ・日本のロータリー100年は、奉仕活動のリーダーとしての歴史である。それ故、地域社会にとってなくてはならない存在。
 - ・ロータリアンの提言、実行、実現、信用、ネットワークの活用で自ら行動する。

○信州の産業と人材育成の輝きをロータリーから。

- ・ロータリーメンバーの結束力、業界力、地域力を活用。
- ・10年後の子供達のために帰る事のできる地域（ふるさと）づくり。

○自慢のクラブ、そして地域社会から学び、未来を創り、伝える。

- ・自クラブの良さ、優位性を再発見し語り合う。
- ・楽しい、心地良い、行ってみたいから、応援に行きたいまちへ。

○あなたの街、そして地域の魅力を語って下さい。

- ・2600地区の自然環境、そしてアクセスの優位性を見え、見せる工夫で 魅力UPへ。
- ・城跡公園、蚕都、ロケ地、アニメ、スポーツ、食、高等教育機関の集中等。

私達地域のロータリー活動は、世界に広がるネットワークとなって、文化間、言語間、世代間、地域間に橋を渡し、より良い世界のビジョンを共有しています。

それ故に“ロータリーから信州に元気に、にする為に、力強く行動して参りましょう!!

■ 点 鐘

13:30

次回例会

10月25日(日) 9:30~受付開始

地区補助金事業・ロータリーデー「市民の森整備作業」(ますみヶ丘平地林)